

岡安証券

= 注目・外株銘柄 =

(2025年2月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<継続>

- P1 【マグニフィセント7】 エヌビディア (NVDA)
- P2 【マグニフィセント7】 マイクロソフト (MSFT)
- P3 【マグニフィセント7】 アップル (AAPL)
- P4 【マグニフィセント7】 アルファベット (GOOGL)
- P5 【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム (AMZN)
- P6 【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ (META)
- P7 【マグニフィセント7】 テスラ (TSLA)
- P8 【半導体】 ブロードコム (AVGO)
- P9 【動画配信】 ネットフリックス (NFLX)
- P10 【ソフトウェア】 アップラビン (APP)
- P11 【ソフトウェア】 セールスフォース (CRM)
- P12 【ソフトウェア】 サービスナウ (NOW)
- P13 【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ (PLTR)
- P14 【データ解析】 スノーフレーク (SNOW)
- P15 【医療機器】 インテューティブ・サージカル (ISRG)
- P16 【医薬品・バイオ】 ギリアド・サイエンシズ (GILD)
- P17 【金融】 ゴールドマン・サックス (GS)
- P18 【たばこ】 アルトリア・グループ (MO)
- P19 【エネルギー】 キンダー・モルガン (KMI)
- P20 【公益】 ビストラ (VST)

(株価データ、株価指標は現地2025年1月30日現在)

<継続>

- 時価総額トップとなった、画像処理半導体 (GPU) 開発企業
- ソフトウェア世界最大手
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- インターネット検索世界最大手
- インターネット小売世界最大手
- SNS運営世界最大手
- 米電気自動車 (EV) 大手
- 企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
- 動画配信の世界最大手
- 携帯アプリの収益向上ツールを提供
- 顧客管理ソフトを中心に展開するクラウド専門の先駆者
- 業務自動化支援のクラウド企業
- 防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
- ビッグデータ保管・分析ツールを開発
- 外科手術ロボット「ダヴィンチ」を開発・製造
- HIV・がん治療などを開発する大手バイオ医薬品メーカー
- M&A助言業務に強い大手投資銀行
- 米国たばこ大手、配当による株主還元を重視
- 北米最大級の天然ガス等のパイプライン運営企業
- テキサス州拠点の電力会社、M&Aを通じて原発大手に変貌

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

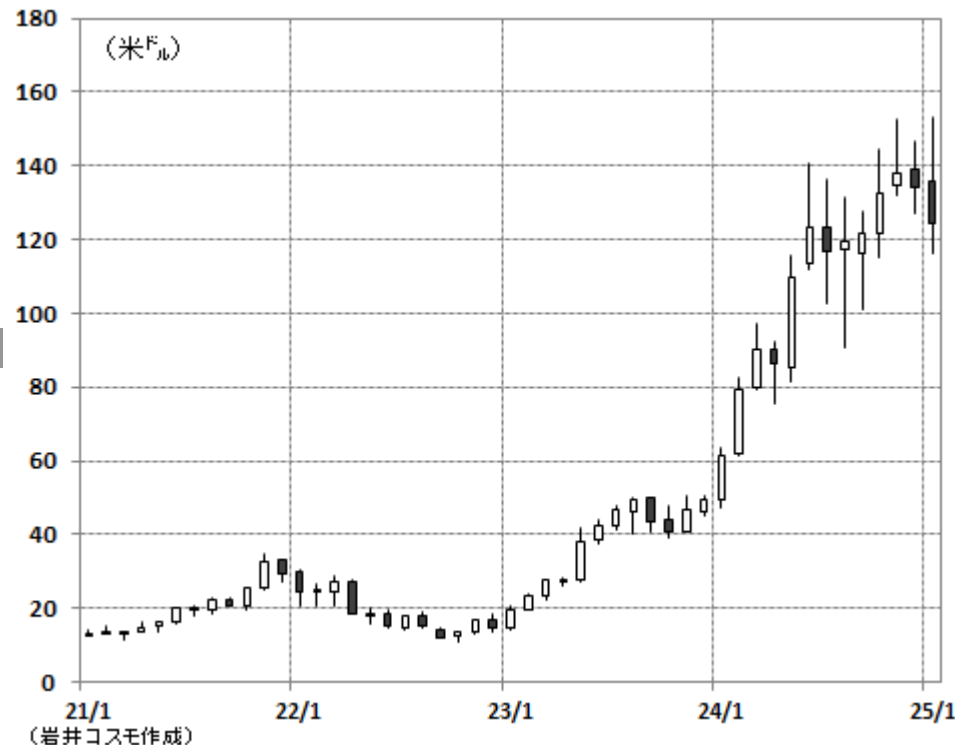
会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが78%、ゲーム市場向けが17%、視覚化技術に関するプロ向けが3%、自動車向けが2%、OEM&IPが0.5%(24年1月期)。

注目ポイント

□ **AI半導体で主導権**: AIの計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発する。

□ **次世代GPU出荷中・DSショックで株価急落**: 11-1月期に次世代GPUブラックウェルがサンプル出荷から通常出荷に移行して現在フル生産中である。2025年の見本市CESでは、AI用PC向けGPUを発表、またトヨタ自動車とは自動運転用半導体の供給で提携した。1月27日の中国発「ディープシーク・ショック」によりAI半導体規制強化や高性能GPU需要鈍化の懸念が生じる中、2月26日の次回決算を迎える。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	124.65 (01/30)
52週高値(日付)	153.13 (25/01/07)
52週安値(日付)	60.7 (24/01/31)
時価総額	3兆0,527億ドル 470兆9978億円
株価変化率(%)	20.2 (過去6ヶ月間) 98.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	49.1 (倍)
株価売上高比率	27.1 (倍)
PBR	46.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.03 (直近年率)
配当成長率(%)	112.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	127.2 (%)
株式ベータ	1.76 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	0.17	0.016
2024/01	60,922	126	32,972	8倍	29,760	7倍	1.19	0.016
四半期業績								
2024/Q3	18,120	—	10,417	—	9,243	—	0.37	0.004
2025/Q3	35,082	94	21,869	110	19,309	109	0.78	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

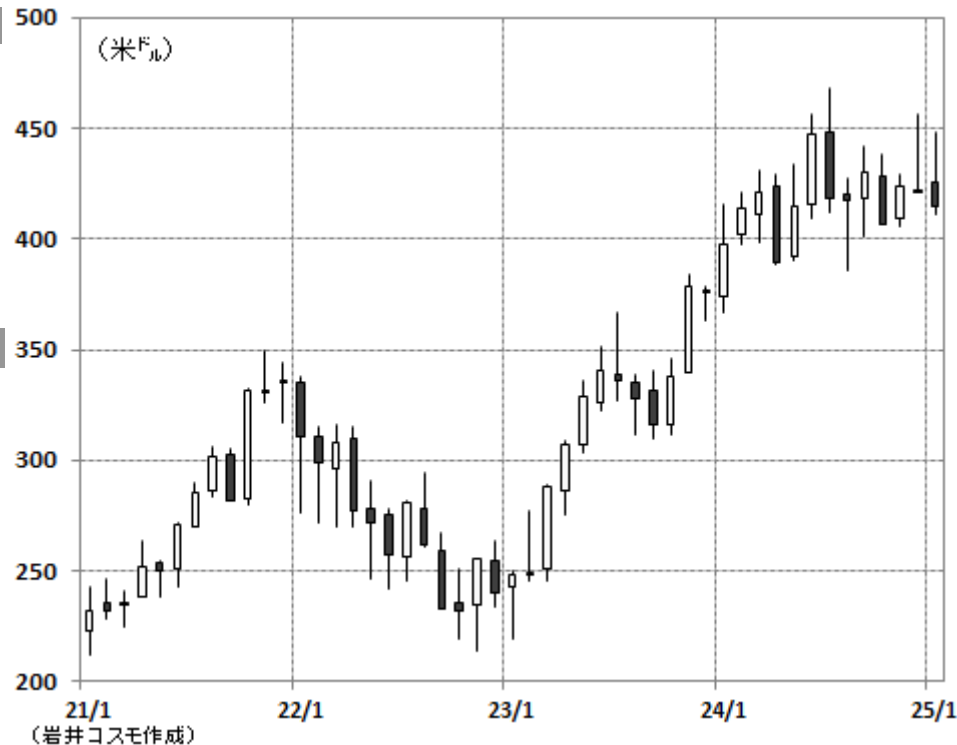
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理等のクラウド「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□ **サポート生成AIが実装・収益貢献**: 23年秋から「ウィンドウズ11」にAI支援機能「コパイロット」を追加、商用サービスを開始。出資先のオープンAIの技術をフル活用してAIに指示してパソコン操作を代行できる。10-12月期の「アジュール・他クラウドサービス」の伸びは、AI対応のデータセンター-拡充が計画通り進捗してないものの3割超を維持。巨額投資を行いながら、今25年6月通期も2桁台の増収・営業増益を見込む。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	414.99 (01/30)
52週高値(日付)	468.33 (24/07/05)
52週安値(日付)	385.65 (24/08/05)
時価総額	3兆0,850億ドル 475兆9890億円
株価変化率(%)	-1.9 (過去6ヶ月間) 1.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	33.3 (倍)
株価売上高比率	11.8 (倍)
PBR	10.2 (倍)
税前提当利回り(%)	0.80 (直近年率)
配当成長率(%)	10.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	34.3 (%)
株式ベータ	1.02 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.68	2.72
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00

四半期業績

2024/Q2	62,020	—	27,032	—	21,870	—	2.93	0.75
2025/Q2	69,632	12	31,653	17	24,108	10	3.23	0.83

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

会社概要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **アップル版生成AI(英語版)開始**: 独自のAI「アップル・インテリジェンス(英語のみ)」は10月に文書要約等のサービスをスタート。12月にはオープンAIのChat GPTと統合、音声AIのSiriの機能も進化した。またユーザーや家族をモチーフにした絵文字もAIで生成可能となった。

□ **増収増益も中国で販売低調**: 10-12月期は前年同期比4%増収・6%営業増益。中華圏売上がスマホ市場で中国メカとの競合に押された影響が出て11%落ち込んだが、最新 아이폰 16販売開始も 아이폰 販売は1%弱減の691億ドル、最新マックPCやアイパッドの増収が補った。AI機能が使える地域の 아이폰 16の売れ行きは良好とし、1-3月期の増収率は「1桁前半から半ばの伸び」を想定。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	237.59 (01/30)
52週高値(日付)	260.09 (24/12/26)
52週安値(日付)	164.08 (24/04/19)
時価総額	3兆5,728億ドル 551兆2548億円
株価変化率(%)	8.6 (過去6ヶ月間) 26.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	34.1 (倍)
株価売上高比率	9.1 (倍)
PBR	53.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.42 (直近年率)
配当成長率(%)	4.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	136.5 (%)
株式ベータ	0.95 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/09	383,285	-3	114,301	-4	96,995	-3	6.13	0.94
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q1	119,575	—	40,373	—	33,916	—	2.18	0.24
2025/Q1	124,300	4	42,832	6	36,330	7	2.40	0.25

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

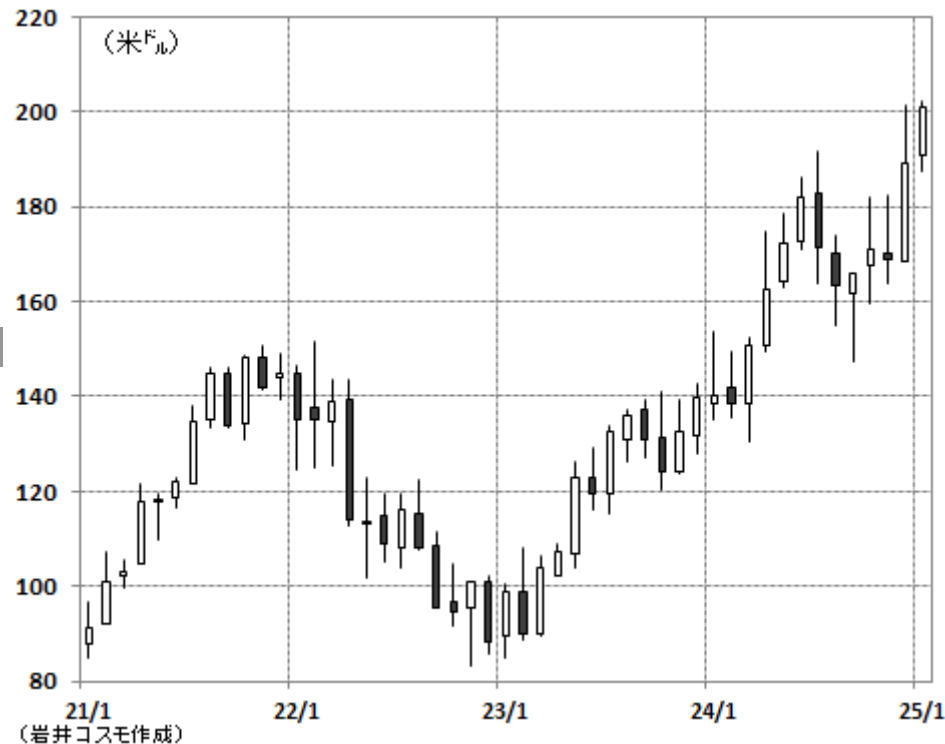
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は181,269人(24年9月末)。

注目ポイント

□ **生成AI製品効果でクラウド事業が急成長**: 7-9月期決算は4四半期連続で広告収入が2桁成長を達成、売上・利益は市場予想を上振れ着地。生成AI製品や各種ビジネスソフトが収益貢献したクラウド事業は売上・利益の成長が加速した。新型スマホ「ピクセル9」は機器販売の伸長に寄与。ほか米国の複数都市で商業運転を行う自動運転車事業のウェイモのロボタクシーの有料乗車は、週15万回に達している等とした。

□ **複数のAI製品を12月に次々発表**: アンドロイド搭載の生成AI「ジェニミ2.0」は最小限の指示でタスクをこなすAIエージェントの能力が備わった他、動画・画像生成AIの「Veo2」や「Imagen3」もローンチ。ほか量子コンピューティングの分野では「ウィロウ」という画期的な量子チップも発表された。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	200.87 (01/30)
52週高値(日付)	202.29 (25/01/21)
52週安値(日付)	130.665 (24/03/05)
時価総額	2兆4,693億ドル 380兆9960億円
株価変化率(%)	18.0 (過去6ヶ月間) 32.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.0 (倍)
株価売上高比率	7.3 (倍)
PBR	7.8 (倍)
税前提当利回り(%)	0.40 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.1 (%)
株式ベータ	1.03 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00

四半期業績

2023/Q3	76,693	—	21,343	—	19,689	—	1.55	0.00
2024/Q3	88,268	15	28,521	34	26,301	34	2.12	0.20

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントンシアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

□ **AWSが高成長・ネット通販が収益性改善**：7-9月決算は前年同期比55%最終増益。企業のAI利用を追い風にAWS(クラウド)事業は19%増収・50%営業増益となり、営業利益の6割を稼いだ。小売事業は商品販売数が同1割伸びシェア拡大が続く。配送効率の上昇により営業利益率は北米・海外とも改善傾向にある。また広告収入は同19%増と堅調に推移、売上全体の9%を占めた。

□ **格安品のネット販売開始**：アマゾンは24年11月に衣類・家庭用品・宝飾品中心に20ドル以下の販売コーナー「アマゾン・ホール」を開始、中国のテーム、シーインなどの競合に対抗する。配達まで1~2週間かかるが、米国顧客に広東省東莞市の施設から直接商品を安く発送する。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	234.64 (01/30)
52週高値(日付)	241.77 (25/01/28)
52週安値(日付)	151.61 (24/08/05)
時価総額	2兆4,672億ドル 380兆6708億円
株価変化率(%)	29.1 (過去6ヶ月間) 47.6 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	48.5 (倍)
株価売上高比率	3.9 (倍)
PBR	9.5 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.6 (%)
株式ベータ	1.16 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q3	143,083	—	11,188	—	9,879	—	0.94	0.00
2024/Q3	158,877	11	17,411	56	15,328	55	1.43	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

日々30億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

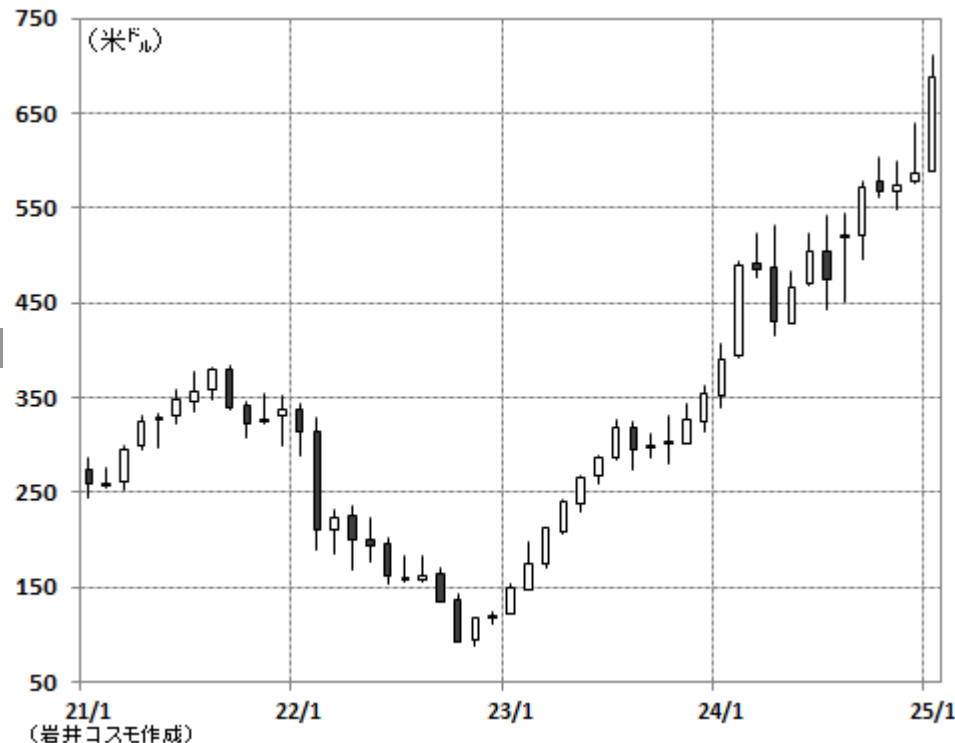
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(Instagramなども含む)は全世界で33.5億人(24年10-12月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約74,067人(24年末時点)。

注目ポイント

□ 広告収入の好調維持: 10-12月期の前年同期比・増収率は+21%と好調。インスタやFB内の短編動画広告やワッツアップのビジネスメッセージ等の新タイプの広告がけん引する。大規模言語モデル技術をSNSコンテンツの推奨機能に応用して視聴時間の増加に結び付けている。SNS上ではAIアシスタント「メタAI」が米国中心に展開され、音声対話・画像対応が強化された。

□ 日米のストレスに広告導入へ: 短文投稿アプリ(X・旧ツイッター)似の「ストレス」に日米で広告を導入する計画を1月24日に明らかにした。現在の「ストレス」の月間利用者数は、3.2億人と急速に伸びている。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	687 (01/30)
52週高値(日付)	710.76 (25/01/30)
52週安値(日付)	387.1 (24/01/31)
時価総額	1兆7,406億ドル 268兆5609億円
株価変化率(%)	48.3 (過去6ヶ月間) 71.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.5 (倍)
株価売上高比率	10.6 (倍)
PBR	9.5 (倍)
税前配当利回り(%)	0.29 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	37.1 (%)
株式ベータ	1.11 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	40,111	—	16,384	—	14,017	—	5.33	0.00
2024/Q4	48,385	21	23,365	43	20,838	49	8.02	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆す電気自動車メーカー最大手

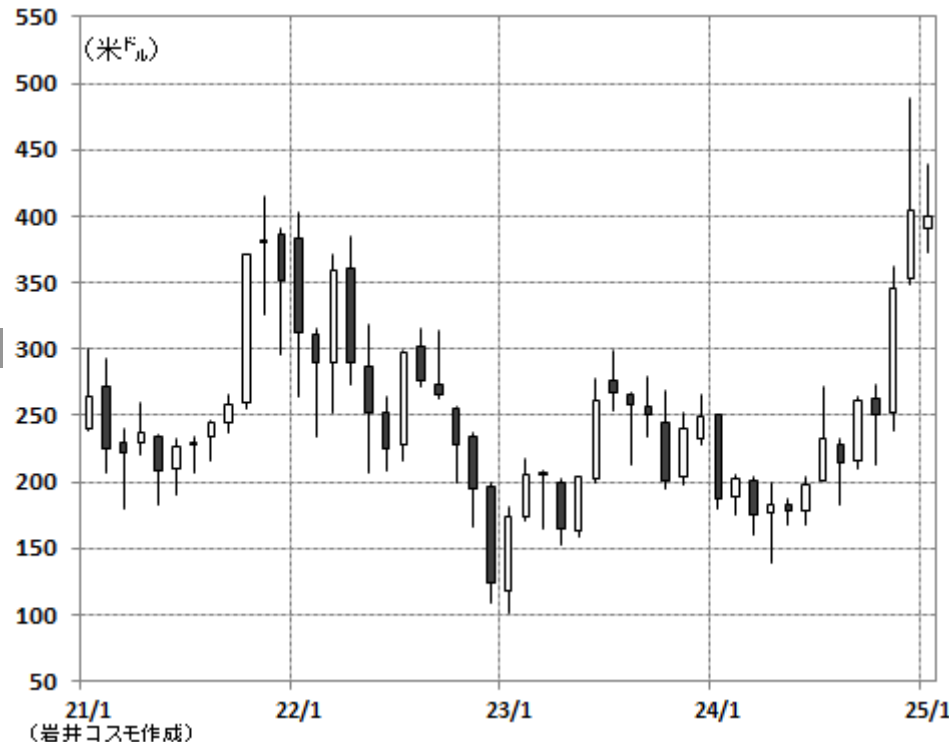
会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□ **低価格EVを25年前半に発売へ**: 同社の「モデルY」が24年に世界で最も売れた車両となったと推定されるが、24年のEV納車台数は公約達成ならず前期比1%減の179万台だった。既存設備の拡張により、低価格EVを25年前半に販売開始を予定し、25年のEV販売台数は概算のベストケースで前年比20~30%増を想定する。

□ **自動運転車と人型ロボットに注力**: 自動運転車と人型ロボットに注力しており、マスク氏は25年は基盤と製造ライン作り、26年は壮大な年とした。6月にテキサス州オースティンで完全無人自動運転車の有料サービスを開始する予定とし、26年に量産開始する計画。人型ロボット「オプティマス」は年末、数千台がテスラ工場稼働しているだろうとした。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	400.28 (01/30)
52週高値(日付)	488.5 (24/12/18)
52週安値(日付)	138.82 (24/04/22)
時価総額	12,875億ドル 198兆6495億円
株価変化率(%)	79.8 (過去6ヶ月間) 108.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	194.0 (倍)
株価売上高比率	13.1 (倍)
PBR	17.7 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	10.5 (%)
株式ベータ	1.79 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	25,167	—	2,064	—	7,928	—	2.27	0.00
2024/Q4	25,707	2	1,583	-23	2,317	-71	0.66	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

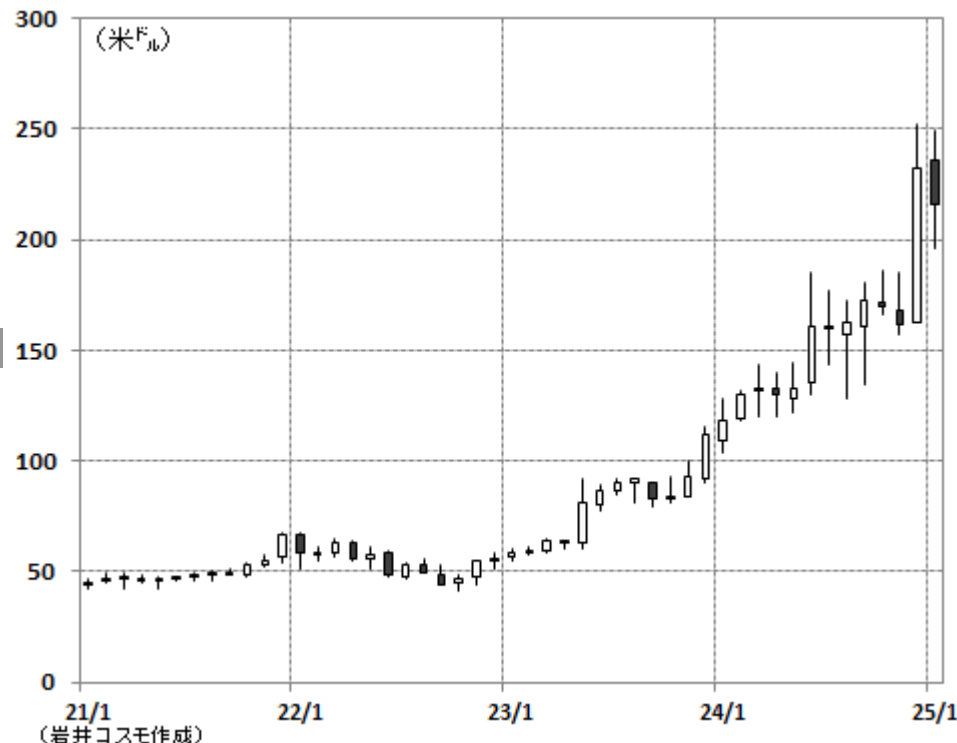
会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

□ **カスタム半導体等のAI半導体を供給**： 巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ-同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。

□ **複数のAI半導体の大型受注で存在感**： 同社のAI半導体は、24年10月期にカスタムAIアクセラレータ(XPU)や高速ネットワーク機器向けが急成長して前期比3.2倍の122億ドルを売上げた。XPUはIT大手3社と今後3年間の長期契約で開発中であるほか、次世代XPUで新たに2社と契約。会社側は27年度の関連市場規模を600億~900億ドルと予測し、この市場で絶好の位置にいると豪語した。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	215.66 (01/30)
52週高値(日付)	251.87 (24/12/16)
52週安値(日付)	117.435 (24/01/31)
時価総額	10,109億ドル 1,55兆9,679億円
株価変化率(%)	50.3 (過去6ヶ月間) 78.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	81.8 (倍)
株価売上高比率	19.4 (倍)
PBR	14.9 (倍)
税前配当利回り(%)	1.09 (直近年率)
配当成長率(%)	13.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	12.9 (%)
株式ベータ	1.83 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	3.30	1.840
2024/10	51,574	44	13,463	-17	5,895	-58	1.23	2.105

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	9,295	—	4,240	—	3,524	—	0.83	0.460
2024/Q4	14,054	51	4,627	9	4,324	23	0.90	0.530

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手、オリジナルコンテンツ拡充と広告付きプランで収益拡大を目指す

会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年末時点の会員数は全世界で約3.03億人。

注目ポイント

□ **会員数3億人突破**: 24年の10-12月期は同会員数が1,891万人増と過去最高を記録。会員数は3億人を超えたが、家族アカウントを含めると7億人の視聴が推定される(会員数公表が今回が最後)。25年度は売上見通しを上方修正し、前期比12-14%増の4.35億-4.45億ドルとし、広告収入の倍増を見込む、またフリーキャッシュフローを同16%増の約80億ドルとした。ロサンゼルスの大規模火災の影響は撮影等で限定的とした。

□ **スポーツ生配信に進出**: 11月15日のボクシングのマイク・タイソンの復帰戦では6500万人の視聴者を獲得、クリスマスには歌手ビヨンセも出演するアメフトNFLの試合を初めて中継した。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	973.24 (01/30)
52週高値(日付)	999 (25/01/22)
52週安値(日付)	542.04 (24/04/22)
時価総額	4,163億ドル 64兆2,325億円
株価変化率(%)	56.3 (過去6ヶ月間) 72.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	49.6 (倍)
株価売上高比率	10.7 (倍)
PBR	16.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.4 (%)
株式ベータ	1.23 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00
2024/12	39,001	16	10,418	50	8,712	61	19.83	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	8,833	—	1,496	—	938	—	2.11	0.00
2024/Q4	10,247	16	2,273	52	1,869	99	4.27	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

携帯アプリ開発者向けツール開発企業、広告推奨エンジン「AXON」導入で急成長

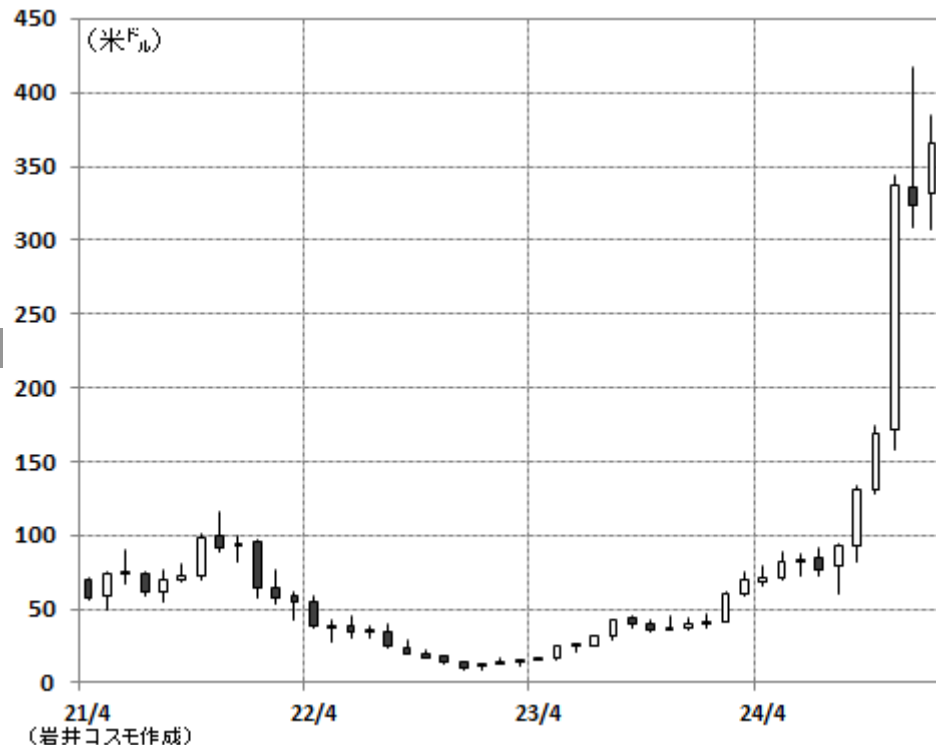
会社概要

モバイル端末アプリやインターネットTV用アプリの開発者向け各種ツールを提供。宣言効果の高い広告配信先を探すツールやマーケティング分析ツールが主力製品。ほかモバイルアプリのゲームを開発、無料でプレイできるゲームは200超。本社はカリフォルニア州パロアルト、23年末の社員数は1,717名。2021年4月にナスダック上場、22年8月にゲーム開発エンジンのユニティソフトウェアの買収提案を試みるも断念した経緯が有る。

注目ポイント

□ **AI技術活用でターゲット広告性能が向上**：アップラビンは23年後半にモバイルアプリ開発業者向けに広告推奨エンジン「AXON(アクソン)」を提供開始。以来ソフトウェア収入が急増し、市場の注目度を高めた。広告業界は届けたい相手に広告が配信できるほど広告単価が上がり、最終的に同社の成果報酬(ソフトウェア収入)は増えると見られる。現在、これまで手薄だったネット小売分野を強化中である。

□ **競合多数の中、広告テック企業と協業**：ネット広告業界ではメタやアルファベット、ユニティソフトウェアや大手ゲーム開発会社等の競合がひしめく中、広告テックの雄「トレードデスク」とは技術や広告配信で協力関係。



株価チャート (上場来・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	365.51 (01/30)
52週高値(日付)	417.51 (24/12/06)
52週安値(日付)	40.71 (24/02/02)
時価総額	1,293億 ^{ドル} 19兆9,473億円
株価変化率(%)	388.5 (過去6ヶ月間) 760.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	110.1 (倍)
株価売上高比率	28.7 (倍)
PBR	130.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	113.1 (%)
株式ベータ	2.41 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2022/12	2,817	1	-48	赤転	-193	赤転	-0.52	0.00
2023/12	3,283	17	648	黒転	357	黒転	0.98	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2023/Q3	864	—	186	—	109	—	0.30	0.00
2024/Q3	1,198	39	535	2.9倍	434	4.0倍	1.25	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

顧客管理ソフトを中心に展開するクラウド専門の先駆者

会社概要

ネット経由でソフトを企業に提供するクラウドコンピューティング・サービスの専門大手で先駆的存在。CRM(顧客管理)や営業支援ツールはクラウドベースで世界で最も利用され、日本ではトヨタ自動車、日本郵政Gなどが大手顧客。ほか中堅・中小企業まであらゆる業種・規模に対応。地域別売上構成(前期)は米州67%、欧州23%、アジア太平洋10%、99年設立、04年ニューヨーク上場、20年8月NYダウ工業株平均採用。

注目ポイント

□ **業容拡大、AIエージェント開始**: 営業支援・顧客管理を柱に複数のサービスを組み合わせ販売が奏功、カスタマーサービスやクラウドアプリ開発支援、マーケティング分野のクラウド事業も浸透中。内製AIと「チャットGPT」を統合し生成AI「インシュタイン」を導入、文書要約やメール作成を自動化。難しいデータ分析や意思決定も可能な顧客開拓・サポートツール「エージェントフォース」を24年に開始、1回の利用に2ドルを徴収する。

□ **収益性重視の経営にシフト**: 28年1月期に「売上成長率と純現金収支・対売上比(マージン)の合計」を50%達成を目標に据え、堅実成長と高い収益性の両立を図ることを目指す。今25年1月期は8.6%増収+マージン32.8%≒41%の見込み。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	343.57 (01/30)
52週高値(日付)	369 (24/12/04)
52週安値(日付)	212 (24/05/30)
時価総額	3,288億ドル 50兆7,300億円
株価変化率(%)	33.2 (過去6ヶ月間) 19.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	52.7 (倍)
株価売上高比率	8.9 (倍)
PBR	6.2 (倍)
税前提当利回り(%)	0.47 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	10.2 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	31,352	18	1,030	88	208	-86	0.21	0.00
2024/01	34,857	11	5,011	4.9倍	4,136	20倍	4.20	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q2	8,603	—	1,476	—	1,267	—	1.28	0.00
2025/Q2	9,325	8	1,783	21	1,429	13	1.47	0.40

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、顧客数は8,100社超。地域別売上(23年度)は北米64%、欧州等26%、アジア/太平洋が11%。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は26,293名(24年末)。2019年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する業務自動化クラウド企業**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、経費節減と社内業務の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本の大手企業にも数々の導入実績がある。

□ **生成AI製品「ナウアシスト」が成長中**：23年投入のAI製品「ナウアシスト」や24年投入の自律型AIエージェントが収益拡大に貢献。「ナウアシスト」を導入済みの企業ではIT相談や顧客対応窓口で過去の蓄積した内容を踏まえAI機能が自動返答し、労働時間が短縮化したという。



(岩井コスモ作成)

株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	1012.75 (01/30)
52週高値(日付)	1197.5 (25/01/28)
52週安値(日付)	638.38 (24/05/31)
時価総額	2,086億ドル 32兆1,890億円
株価変化率(%)	26.8 (過去6ヶ月間) 28.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	142.8 (倍)
株価売上高比率	19.0 (倍)
PBR	21.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	16.5 (%)
株式ベータ	1.27 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	8,971	24	762	115	1,731	433	8.42	0.00
2024/12	10,984	22	1,364	79	1,425	-18	6.84	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	2,437	—	270	—	295	—	1.43	0.00
2024/Q4	2,957	21	374	39	384	30	1.83	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

防衛から民間大手まで広範にデータ分析プラットフォームを提供

会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピター・ティール氏やCEOのアレキサンダー・カプ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。同社株式は2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用、同年11月にナスダックに鞍替え、翌12月にナスダック100指数に採用された。

注目ポイント

□ **祖業はテロ対策**: 2008年に兵士を爆発物から守る目的で米諜報機関向けに「ゴッサム」を開発、ビンラディン容疑者の捜索にも貢献したとされる。無数のデータポイントから現実世界のモデルを構築する能力を得意とし、最近では生成AI技術と統合した。現在は西側の政府機関に各所で広く採用。また民間転用された「ファウントリ」は2016年に投入、エネルギー(設計)や運輸(生産性向上)、金融(リスク分析)、ヘルスケア(供給網管理)等で幅広い業界で導入が進む。

□ **高成長要因**: 24年9月末の政府・民間顧客数は1年前比39%増の629。ウクライナの戦争や中東紛争に関連した米政府との新契約や米民間事業の成長加速、生成AIサービス需要の拡大が飛躍の要因。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	81.22 (01/30)
52週高値(日付)	84.785 (24/12/24)
52週安値(日付)	63.42 (25/01/13)
時価総額	1,850億ドル 28兆5,367億円
株価変化率(%)	— (過去6ヶ月間) — (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	388.7 (倍)
株価売上高比率	68.2 (倍)
PBR	41.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	12.4 (%)
株式ベータ	— (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	1,906	24	-161	赤継	-374	赤継	-0.18	0.00
2023/12	2,225	17	120	黒転	210	黒転	0.09	0.00

四半期業績

2023/Q3	558	—	40	—	72	—	0.03	0.00
2024/Q3	726	30	113	3倍	144	2倍	0.06	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

ビッグデータを保管・分析、顧客企業がAI利用を活発化、恩恵享受へ

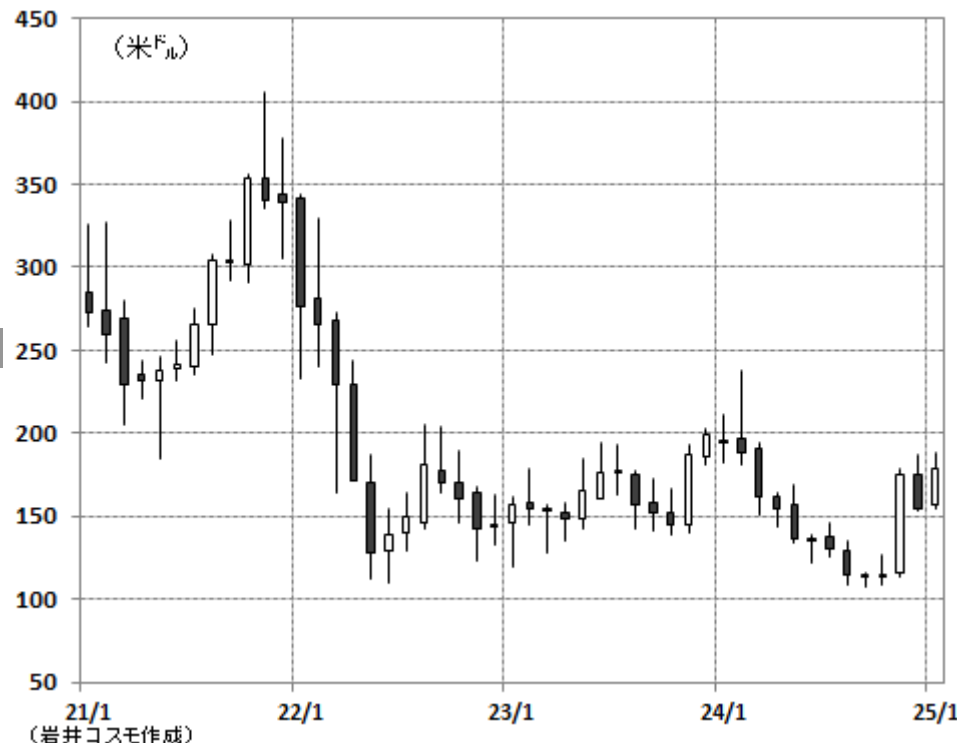
会社概要

2012年創業のソフトウェア開発企業、データ保管・分析ツールを大企業中心に提供する。主力製品にはデータ分析・処理の高速化を実現する「データウェアハウス」、データアクセスやセキュリティの改善を支援する「データレイク」、データ集約型アプリの開発を簡素化する「データエンジニアリング」などを取り揃える。本社はモンタナ州ボーズマン、24年10月末の顧客数は10,249社。2020年9月にニューヨーク市場に上場。

注目ポイント

□ **顧客企業がAI利用を活発化、恩恵享受**：スノーflakeは顧客企業の製品上の取扱いデータ使用量に基づく料金体系を採用する。23年以降、顧客企業がAI利用を活発化しており、24年10月時点のAI・機会学習機能の利用顧客数は3,200超を数えるまでに至った。今後、データ使用量が増えるにつれ、1社当りの収入増が期待される。

□ **AI対応製品を提供開始**：同社はマイクロソフト/アマゾン/グーグルのクラウド大手と競合、独立系の強みを活かす営業を展開。24年後半にAI対応製品を提供。24年7-9月期は受注残高が急増、AIインフラ投資が先行するため収益性低下も、今後回復すれば利益伸長期待に。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	179.29 (01/30)
52週高値(日付)	237.71 (24/02/12)
52週安値(日付)	107.13 (24/09/06)
時価総額	592億ドル 9兆1,314億円
株価変化率(%)	39.1 (過去6ヶ月間) -13.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	17.5 (倍)
PBR	20.2 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-28.7 (%)
株式ベータ	1.40 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/01	2,066	69	-842	赤継	-797	赤継	-2.50	0.00
2024/01	2,806	36	-1,095	赤継	-836	赤継	-2.55	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2024/Q3	734	—	-261	—	-214	—	-0.65	0.00
2025/Q3	942	28	-365	赤継	-324	赤継	-0.98	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

外科手術ロボットを製造・販売。24年3月に新型「ダ・ビンチ5」の医療機器認証を獲得

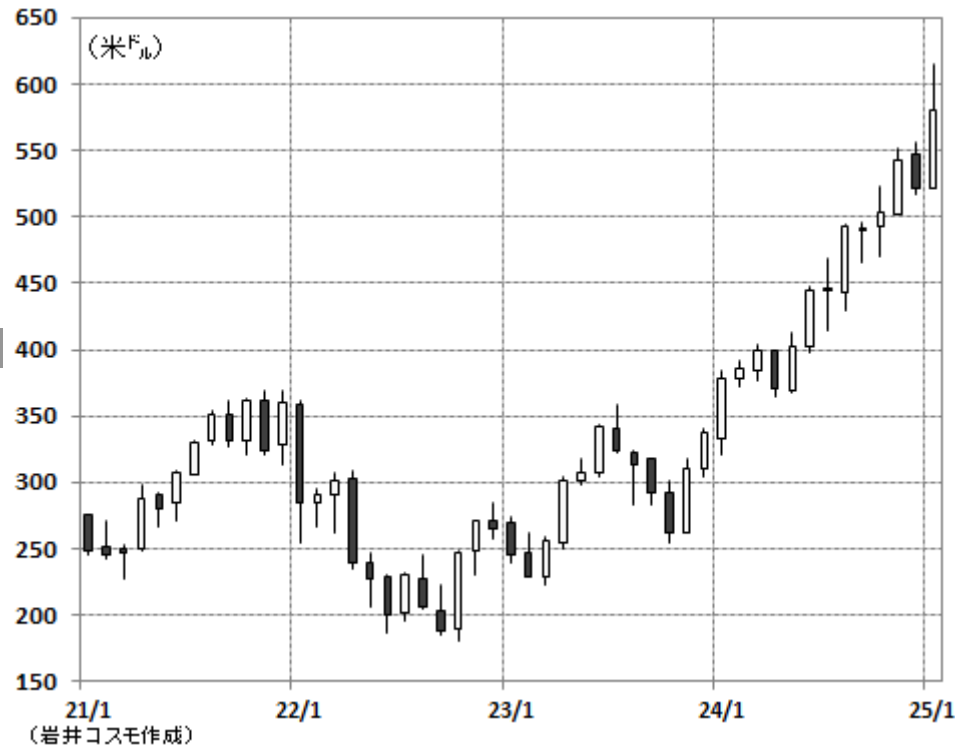
会社概要

「ダ・ビンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供するのが特徴。24年末の稼働状況は、全世界で9,902台。24年度の全世界の手術件数実績は約268万件。日本の病院でも同社ロボット手術が普及、約700台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。24年3月に「ダ・ビンチ5」のFDA認証を獲得。

注目ポイント

□ 体への負担の少ない医療を実現するロボット: 手術ロボット「ダ・ビンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ 経験・実績を蓄積して差別化: 24年のダ・ビンチシステム手術件数は前年比17%増の268.3万件、累計手術件数は1,700万件に迫り、米国の適応手術は65種類を数える。AR(拡張現実)やデータ分析、AI分野の機会学習、遠隔医療の各種技術を順次提供する予定。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	580.18 (01/30)
52週高値(日付)	615.315 (25/01/23)
52週安値(日付)	364.28 (24/04/19)
時価総額	2,066億 ^{ドル} 31兆8,837億円
株価変化率(%)	34.1 (過去6ヶ月間) 53.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	89.4 (倍)
株価売上高比率	24.7 (倍)
PBR	12.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	15.6 (%)
株式ベータ	1.17 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	7,124	14	1,767	12	1,798	36	5.03	0.00
2024/12	8,352	17	2,349	33	2,323	29	6.42	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	1,928	—	450	—	606	—	1.69	0.00
2024/Q4	2,414	25	735	63	686	13	1.88	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米投資銀行大手、金融市場の活況と業界の規制緩和が追い風要因

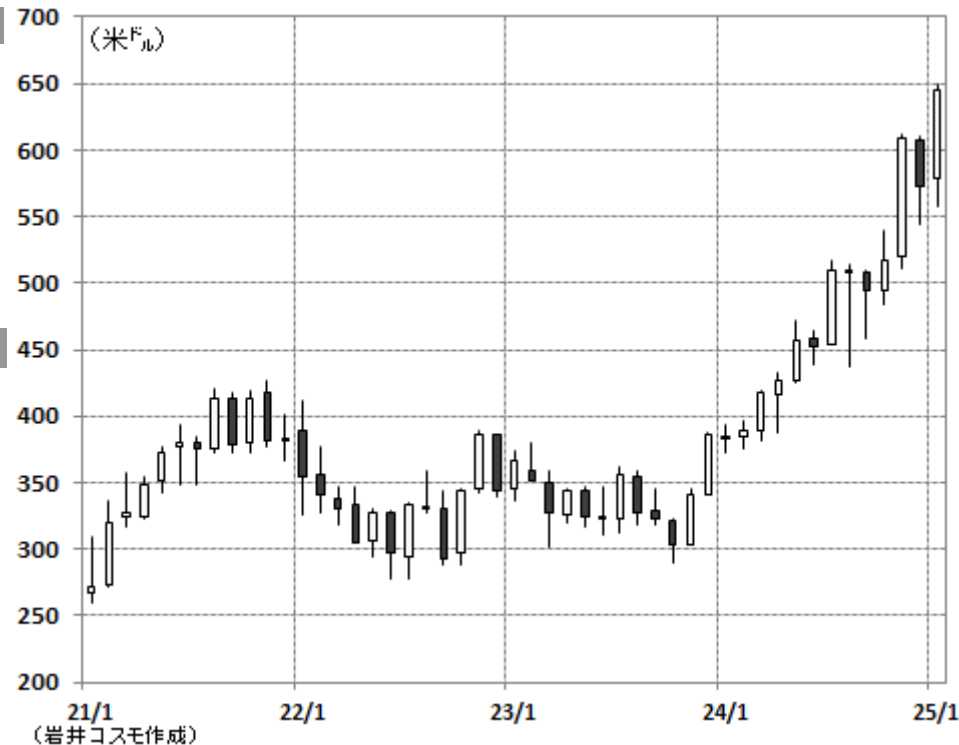
会社概要

1869年設立の米投資銀行の最大手、法人・金融機関・政府・富裕層の個人等に金融サービスを提供、投資銀行業務や証券売買自己仲介業務、投資運用に従事。欧州金融機関が縮小路線を辿るなか、金融市場で優位性を保持。M&Aアドバイザーと株式引受部門が強く、株式市場の活況で恩恵大。本社はニューヨーク、社員数は約46,500名(24年末)。2013年にNYダウ平均工業株平均採用。

注目ポイント

□ 本業回帰、中核業務を強化: 2016年に個人向けネット銀行「マカス」を立上げ、リテールを開拓したがその試みは事実上断念、現在は中核の投資銀行や株式・金利等のトレーディングを強化中。通常の市場環境下の株主資本利益率(ROE)目標として14~16%を掲げる。

□ 規制緩和の期待高まる: トランプ次期政権下で複数の金融行政機関のトップ人事刷新は既定路線であり、金融業界の規制緩和の期待が高まる。加えてM&A審査の厳格化の流れも歯止めが掛かる可能性もある。自己資本規制の最終化案の緩和があれば、新たな株主還元余地も生まれる見込み。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	645.7 (01/30)
52週高値(日付)	649.43 (25/01/30)
52週安値(日付)	375.25 (24/02/13)
時価総額	2,079億ドル 32兆0.795億円
株価変化率(%)	27.7 (過去6ヶ月間) 66.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	15.8 (倍)
株価売上高比率	1.7 (倍)
PBR	1.9 (倍)
税前配当利回り(%)	1.86 (直近年率)
配当成長率(%)	9.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	12.6 (%)
株式ベータ	1.22 (対S&P500)

通期業績								
決算期	経常収益 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	46,254	-2	10,739	-20	7,907	-27	22.87	10.50
2024/12	53,512	16	18,397	71	13,525	71	40.54	11.50

四半期業績								
決算期	経常収益 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/Q4	11,318	—	2,254	—	1,867	—	5.48	2.75
2024/Q4	13,869	23	5,257	133	3,923	110	11.95	3.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

HIV・がん治療などを開発する大手バイオ医薬品メーカー

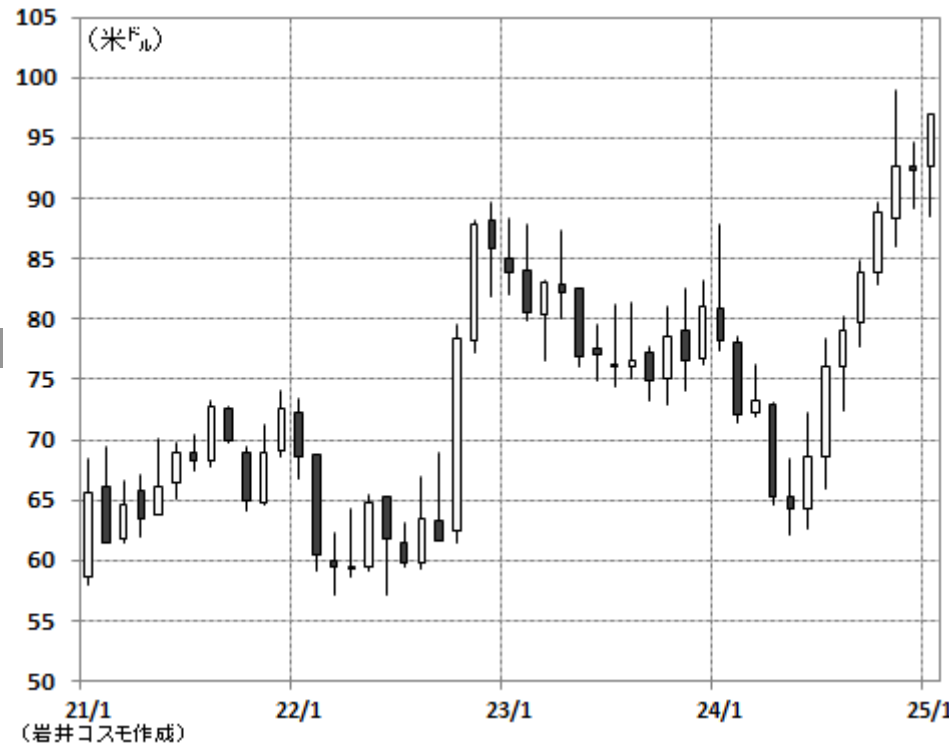
会社概要

米バイオ医薬品メーカー。抗HIV(エイズ)薬に強み。B・C型肝炎、高血圧、がん等が研究対象。今世紀に入り、高い完治率を誇るC型肝炎治療薬を発売。2017年に患者の細胞を活用するCAR-T療法のがん新薬を開発する米カイト・ファーマを買収。2019年に欧州医薬品開発企業ガラパゴスと提携を強化。1987年設立、1992年ナスダック公開、本社はカリフォルニア州フォスターシティ、従業員数は約18,000名(23年末)。

注目ポイント

□ **収益の多角化が進む**：コロナ禍では新型コロナ抗ウイルス薬「レムデシビル」が一時貢献も、現在は販売が減少傾向にある。近年はがん治療分野を強化。M&Aを通じて血液のがん患者から採取した免疫細胞に遺伝子を入れ、がんへの攻撃力を高める「CAR-T」療法や、乳がん治療薬「トロテルビィ」などが新たに製品群に加わった。24年にはシマヘイ社を買収、原発性胆汁性胆管炎の治療薬「リブデルジ」を取得。

□ **HIV予防治療薬に注目**：得意分野の抗HIV分野は主力薬の「ビクタリ」の好調が続く。また年2回の投与で効果が持続する長時間作用型のHIV予防の「レナカピル(治療薬・注射剤)」の新薬承認に期待が高まっている。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	96.95 (01/30)
52週高値(日付)	98.9 (24/11/11)
52週安値(日付)	62.07 (24/05/31)
時価総額	1,208億ドル 18兆6,422億円
株価変化率(%)	24.2 (過去6ヶ月間) 23.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	15.8 (倍)
株価売上高比率	4.3 (倍)
PBR	6.5 (倍)
税前配当利回り(%)	3.18 (直近年率)
配当成長率(%)	2.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	0.6 (%)
株式ベータ	0.72 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	27,281	-0	7,330	-26	4,592	-26	3.64	2.92
2023/12	27,116	-1	7,605	4	5,665	23	4.50	3.00

四半期業績

2023/Q3	7,051	—	2,623	—	2,180	—	1.73	0.75
2024/Q3	7,545	7	888	-66	1,253	-43	1.00	0.77

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米国たばこ大手、配当重視の株主還元、代表的な高配当利回り銘柄

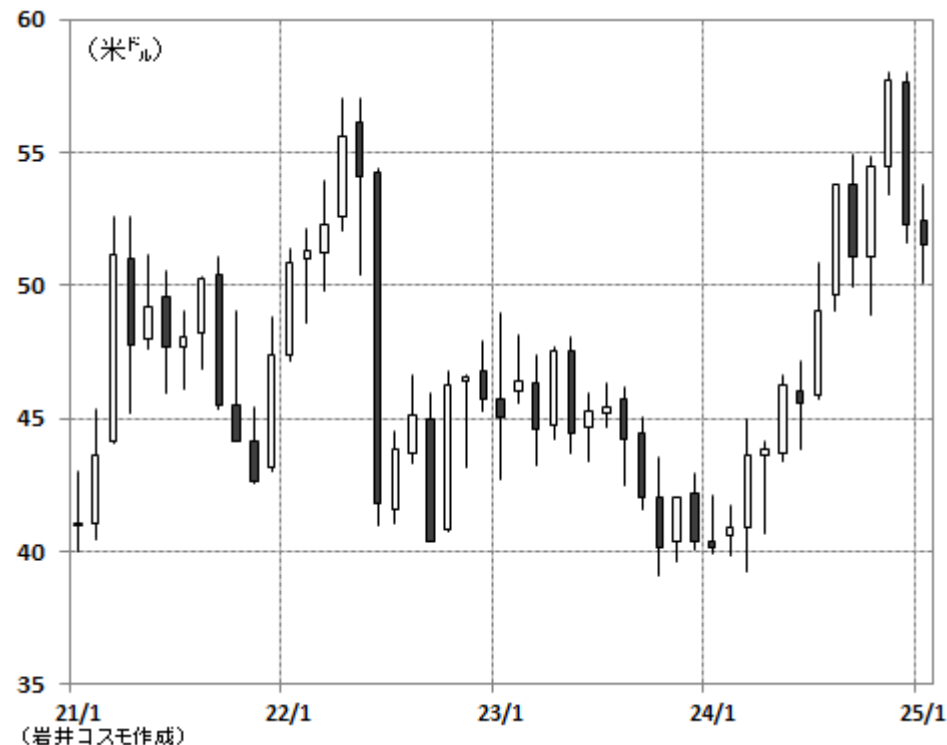
会社概要

1919年設立の米国たばこ大手、醸造会社などにも出資。2003年にフィリップモリスから現社名に変更。2007年に食品の旧クラフトフーズ、2008年に海外たばこのフィリップモリス・インターナショナルを分離。2022年に日本のJTとは加熱式たばこの合併設立(75%出資)。23年6月に電子たばこの新興企業「NJOY」を買収。本社はバージニア州リッチモンド、従業員は約6,400人(23年末時点)。

注目ポイント

□ **中期経営計画**：同社は21歳以上の米国の成人を対象にたばこを製造・販売、より害の少ないたばこ製品への移行を目指し、無煙たばこの販売数量を22年比最低35%増加させる考え。調整後1株利益や1株配当金を2028年までの年平均成長率で「1桁台半ば」を目標とし、配当性向約80%の株主還元方針を持つ。

□ **高い配当利回り**：健康志向を背景にした紙巻たばこの販売数量の減少を値上げで補っている事、健康被害・受動喫煙問題等で複数の訴訟を抱える事、ESG投資家の忌避等から株価収益率が低く、相対的な配当利回りが高い。配当利回りの高い銘柄は、一般的に債券代替投資の対象として金利低下で魅力を高める特徴がある。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	51.54 (01/30)
52週高値(日付)	58.03 (24/11/27)
52週安値(日付)	39.26 (24/03/04)
時価総額	874億ドル 13兆4,773億円
株価変化率(%)	2.0 (過去6ヶ月間) 27.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	13.3 (倍)
株価売上高比率	4.3 (倍)
PBR	— (倍)
税前配当利回り(%)	7.92 (直近年率)
配当成長率(%)	4.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	0.47 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	24,483	-2	11,547	-3	8,130	41	4.57	3.84
2024/12	24,018	-2	11,241	-3	11,264	39	6.54	4.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2023/Q4	5,975	—	2,796	—	2,060	—	1.16	0.98
2024/Q4	5,974	-0.0	2,882	3	3,039	48	1.79	1.02

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

天然ガス等のパイプライン運営企業、電力源としての天然ガス需要増に期待

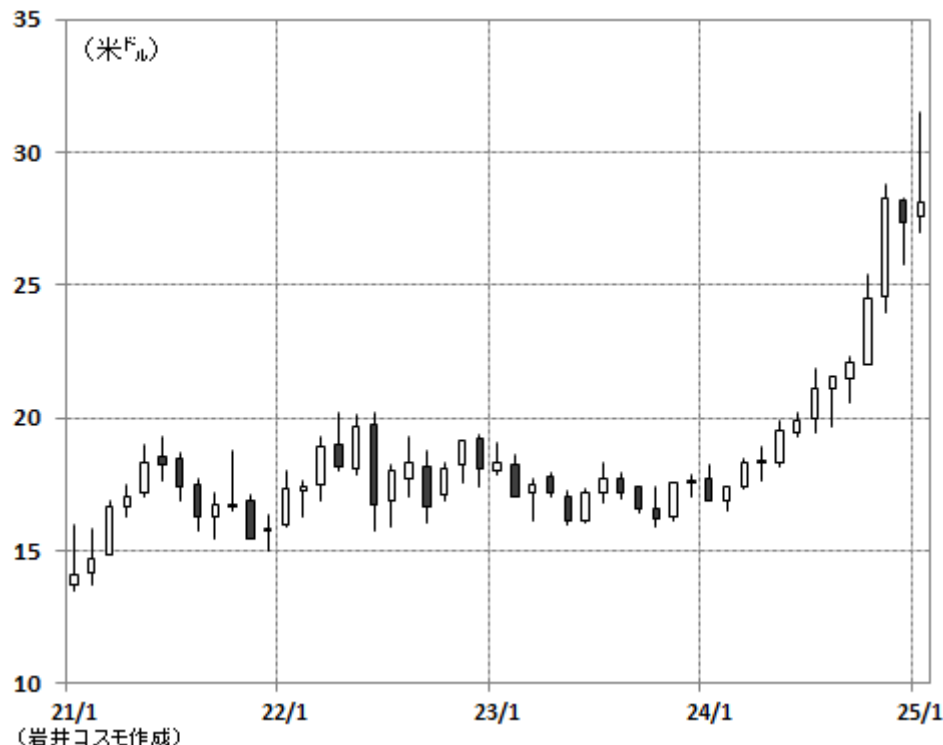
会社概要

北米最大級のエネルギー・インフラ企業。収入の約6～7割を天然ガス用パイプラインの運営から得る。他石油化学製品のパイプライン運営、貯蔵用施設の管理等、中流事業に従事。23年末時点で総延長4.4万マイル(約7万km)のパイプラインを保有。コスト抑制・安全操業・環境配慮の同時実現しながら株主価値を高め、株主還元することを標榜。本社はテキサス州ヒューストン、従業員数は10,891人(23年末時点)。

注目ポイント

□**トランプ氏の政策で恩恵享受**: トランプ大統領は掘削許可プロセスを緩和、天然ガス・パイプラインの新設を奨励、化石燃料の生産量を増やすことを目指している。キンダー・モルガンは第2期トランプ政権下の規制緩和を通じて事業拡大しやすくなることが予想される。

□**天然ガス需要増を楽観視**: 米天然ガス価格は足下、一進一退だが、会社側はAIの運用やデータセンター等向けの電力源としての天然ガスを有望視。多用途も含め天然ガス・パイプラインの需要は増加基調を辿り、2030年にかけてLNG輸出需要が現行水準から2倍に増え、メキシコ向け輸出も50%超増となると予測。増加予測を受けて24年末のプロジェクト残務は前四半期末比6割増の81億ドルに急増した。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	28.1 (01/30)
52週高値(日付)	31.475 (25/01/21)
52週安値(日付)	16.475 (24/02/13)
時価総額	624億ドル 9兆6,320億円
株価変化率(%)	29.4 (過去6ヶ月間) 63.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	24.0 (倍)
株価売上高比率	4.1 (倍)
PBR	2.0 (倍)
税前配当利回り(%)	4.09 (直近年率)
配当成長率(%)	1.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.6 (%)
株式ベータ	0.73 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	15,334	-20	4,263	5	2,391	-6	1.06	1.13
2024/12	15,100	-2	4,384	3	2,613	9	1.17	1.15

四半期業績

2023/Q4	4,038	—	1,101	—	594	—	0.27	0.2825
2024/Q4	3,987	-1	1,108	1	667	12	0.30	0.2875

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

テキサス州拠点の電力会社、M&Aを通じて原発大手に変貌

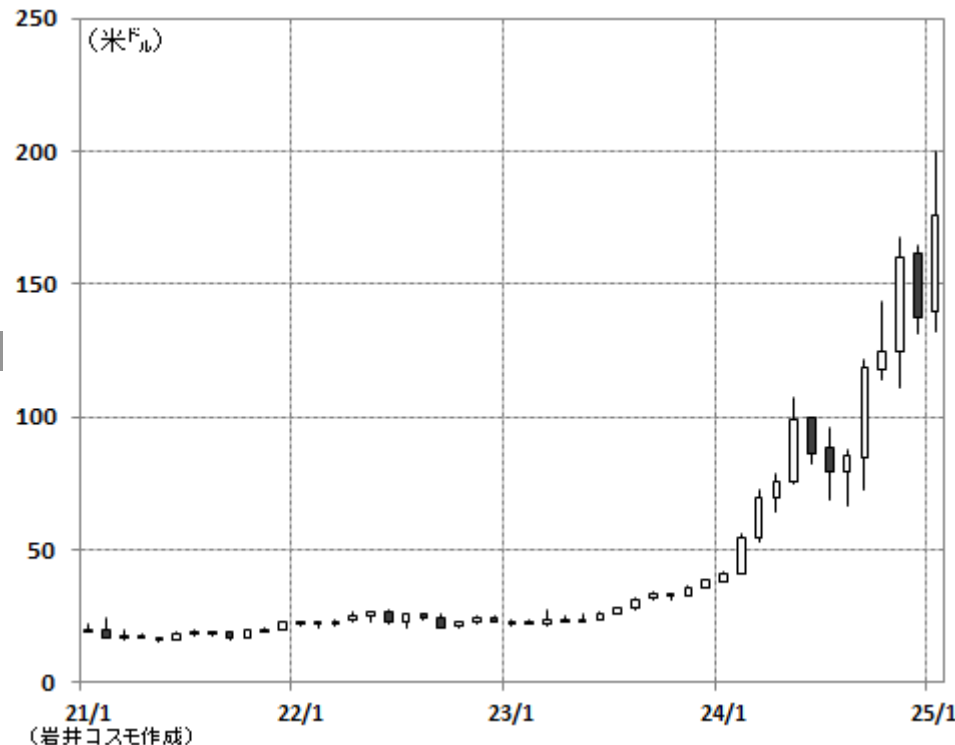
会社概要

テキサス州拠点のエネルギー会社。子会社を通じて電力・天然ガスの小売販売に従事。ほか原子力・天然ガス・太陽光等の発電事業も手がける。全米20州とコロンビア特別区でサービスを提供。小売事業は子会社であるTXUエナジ-など5社がテキサス州中心に展開。一方、発電事業はビストラが天然ガス/原子力/再生可能エネルギー等の発電施設を運営、最終的にゼロカーボン発電を目指す。S&P500指数構成銘柄。

注目ポイント

□**M&Aで原子力発電所取得**: 24年3月に同業のエナジ-ハバ-を買収し、米東部の原発施設3カ所(発電能力約4,000メガワット相当)を取得。独立系電力会社の原子力発電所保有数でコンステーションエナジ-に次ぐ第2位となり、発電能力に占める原子力の割合が高まった。

□**米国で注目される原発**: AI利用増によるデータセンターの電力需要の高まりが注目され、温暖化ガスを排出しない、24時間365日、安定的に電力供給できる「ベースロード電源」としての原子力発電が見直されている。また24年から原発発電量に応じた税控除の優遇措置も追い風。マイクロソフトとアマゾンとは長期電力購入契約を締結済みであるほか、他のIT大手とも初期協議中(7-9月期決算)であるとした。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	176.3 (01/30)
52週高値(日付)	199.82 (25/01/23)
52週安値(日付)	40.58 (24/01/30)
時価総額	600億ドル 9兆2,546億円
株価変化率(%)	155.5 (過去6ヶ月間) 327.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	59.9 (倍)
株価売上高比率	3.8 (倍)
PBR	20.3 (倍)
税前提当利回り(%)	0.50 (直近年率)
配当成長率(%)	6.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	61.9 (%)
株式ベータ	1.17 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/12	13,728	14	-1,177	赤継	-1,377	赤継	-3.26	0.7240
2023/12	14,779	8	2,661	黒転	1,343	黒転	3.58	0.8210

四半期業績

2023/Q3	4,086	—	834	—	465	—	1.25	0.2130
2024/Q3	6,288	54	2,588	3.1倍	1,840	4.0倍	5.25	0.2215

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。